

倫理審査委員会議事

1. 日時 平成29年1月19日(木) 15:12 ~ 15:25
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 特命副院長、薬物依存治療部長、事務部長、薬剤科長、看護部長、矢崎外部委員、三好外部委員 / 庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名 医療観察法入院対象者における社会復帰に向けた特徴抽出分析研究：後方支援的カルテ調査(申請者：医師 南 博之)

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 情報公開をもってインフォームドコンセントに代えるとはどういうことでしょうか。

申請者

○ 今まで退院してきた方々個人にインフォームドコンセントを行うのではなく、情報公開により研究内容をお知らせすることによって、インフォームドコンセントしたことにさせていただきます。

委員

○ ホームページに掲載する素案はあるのですか。

申請者

○ 現在検討中です。

委員

○ 仮にインフォームドコンセントを個々に取るべきだと言われたときにそれに対抗できる意見はありますか。

申請者

○ 通常その手法を利用しているので。

委員

○ 事件を起こした人が分かってしまうのではなく、データとして取りに行くのですか

申請者

○ 個人を特定されるようなかたちでは使いません。例えば対象行為についても殺人、殺人未遂、傷害程度でデータ化します。

委員

○ 後で見て、個人が特定できる事件であれば問題になると思うのですが。

申請者

○ 年齢、性別、対象行為等一別して分かるようには使いません。

委員

○ データとして統計学的に処理していく感じですか。

申請者

○ そうです。

【審査結果】

議題

医療観察法入院対象者における社会復帰に向けた特徴抽出分析研究：後方支援的カルテ調査

承認してよろしいか。

→ 異議なし(承認)

研究実施にかかる公告文を当院のホームページに掲示

後に研究開始となる

以 上